

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 23日

事業所名 そら上瓦屋

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	ほとんど段差や階段がないのでケガをする危険性が低く生活しやすい環境になっている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者の意見が出た際は、その項目に対して話し合いをして解決に繋げている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	担当者が行っている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	リタリコ研修や泉佐野市等で行われる研修等に参加し資質向上を目指している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	子ども達の様子や得意分野、苦手分野を伝え保護者の情報と合わせた内容を取り入れ作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	事前に職員間で話し合い担当を決めてプログラムを円滑に進めるように取り組んでいる	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	色々な経験や子どもたちが楽しむことが出来るような活動を取り入れている 季節感が感じられるように日ごとにプログラムを立てている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	事前に日案を立てて当日の支援が円滑に進むように取り組んでいる	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	日案の作成、朝礼などでスケジュールなどを全職員が把握し、統一した支援が出来るようにしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援終了後、または次の日の朝に情報共有し、改善点を考え引き続きの支援に繋げている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日誌等で記録し、必要な際は、話し合っている	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一回、モニタリングを行い、日々の活動の様子を伝え、保護者の要望を聞き入れ見直しをしている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	担当児童を決めているので、その担当職員が主に参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	保護者に間に入ってもらい対応している。月のお便りなどを必ず提出してもらいコピーを保管している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	マニュアル作成や保護者から薬を預かり、緊急時の対応が出来るよう掲示している	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	67%	33%	相談支援員を通して行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	33%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	67%	33%	地域のふれあいの場などがある際は、出来るだけ参加している	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳に記入したり、送迎時に伝えるようにしている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	33%	支援計画を元に同じ対応をしてもらうよう細かく伝えている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時等に伝え、同意をもらっている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	聞き取りや送迎時等で応じている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	そらカフェを今年度3回行い、保護者同士の交流を行っている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	問題が起きた際は、すぐに職員間で話し合い、解決に努めている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	HPを活用し、日々の様子を写真で発信したり、利用カレンダーに記載し伝えている	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の入った書類はシュレッダーをし内密にしている	

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	0%	100%	保護者会はしていても地域住民を招待する内容は行っていない	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	地震・火災・水害・不審者などの避難訓練を定期的に行ったり、災害時の備品も準備している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修に参加し、職員間で共有している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	契約時に承諾を得ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットが起こった際は、記録に残し再発防止に繋げている	